

京都ぴあフィルムフェスティバル2025 タイムテーブル

開場時間は、上映時間の15分前です。日ごとに上映開始時間が異なりますので、ご注意ください。

※作品上映後にゲストトークの予定あり。

11.13 [木]	15:00~ G ハーバード大学・自主映画アーカイブプログラム 『MOMENT』	17:30~ G PFFアワード2025 『惑星イノウエ』『マイスモールワールド』『ノイズの住人』
14 [金]	14:00~ PFFアワード2025 『空回りする直美』『ワンダリング・メモリア』『紅の空』	17:30~ G PFFアワード2025 『BRAND NEW LOVE』『僕はガタロウ』
15 [土]	11:00~ G PFFアワード2025 『Caravan』『黄色いシミ』	13:45~ G PFFアワード2025 『傷ついたら天使』『アンダー・マイ・スキン』
16 [日]	11:00~ G PFFアワード2025 『名前をつけるのは、これから』『カクレミノ』『CROSS-TALK』	13:45~ G PFFアワード2025 『郷』『宮沢さんは剥がさせない!』
		16:45~ G PFFアワード2025 『PEAK END』『あの頃』
		16:45~ G PFFアワード2025 『屈折の行方』『ロ-16号棟』『人生はいつだってHARDだ』

Ticket Guide

〈整理番号付き自由席〉

一般(シニア含む): 1,300円
学生/博物館友の会/障がい者: 800円

購入はこちら



10月8日(木)20時より、チケットぴあにて発売 [Pコード:555-628]

会場窓口でも当日券販売あり!(上映開始30分前~)

※チケットは、必ずコンビニで発売のうえ、ご来場ください。※サイン・レインのマルチコピー機でも購入できます。

10代限定で無料で「京都ぴあフィルムフェスティバル」にご招待します!
大学1、2年生でも、10代ならOK!
事前申込制・お申し込みはこちら

特報 『MOMENT』
デジタルレストア版の特別上映が決定しました!
手塚眞監督来場&アフタートークも実現!!

主催: PFF 一般社団法人PFF
共催: THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館

オフィシャルパートナー: ぴあ, ホリプロ, dentsu group, HAKUHODO

オフィシャルTOPサポーター: 三菱地所, U-NEXT
オフィシャルサポーター: 住友不動産, セブン&アイHLDGS.

特別協賛: 朝日新聞, イマワ, IJ, Tokyofm, FM802, KLOCK WORK, JCB, SEGASammy, 大和証券, TACHIHI, チコティ, 東京テアトル, TOKYO MX 50th ANNIVERSARY, TFC, NIKKATSU, JAPAN AIRLINES, SMBC, 三井住友カード, MUFG, 三菱UFJニコス

協賛: R-factor, きらぼし銀行, Congress, CONCENT, 佐藤工業, SPACE SHOWER, TBS, DISK GARAGE, tv asahi, テレ東, KOGEI, TOHAN, TOHO アーカイブ, TOPPAN, 0TEL, POOL inc., フジテレビジョン, MOALLA, PONYCANYON INC., MOVIE WALKER, recri, Roadstead

賛助: アテネ・フランセ文化事業(株) / (株) アンカット / (株) 伊藤園 / (株) 運動会屋 / エイベックス・ピクチャーズ(株) / KANDO(株) / ギャガ(株) / 京都芸術大学 舞台芸術研究センター / キングレコード(株) / クエストルーム(株) / (有) スタンス・カンパニー / チケットぴあ九州(株) / チケットぴあ名古屋(株) / 鎌倉・今川路ブックストア / (株) PIVOT / フェリック(株) / (有) フォルム / (有) プレス / (有) ヴォルテージ / (株) マジックアワー / (株) みずほ銀行 / (株) MOON LIGHT / (株) ロボット

京都ぴあフィルムフェスティバル2025



23作品上映、15監督来場予定!



2025.11.13(木) → 16(日)

主催: 一般社団法人PFF 共催: 京都文化博物館 運営協力: Brand new day

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館
3階フィルムシアター



Opening

【特別上映】

ハーバード大学・
自主映画アーカイブプログラムより

伝説の自主映画登場!

11.13 15:00~ 監督来場・アフタートーク

『MOMENT』 1981年/75分
監督・脚本:手塚真



18歳。受験を控えた手塚真は考えた。「漫画をそのまま映画にできないか? 映画の魅力を全部詰め込んで!」一夜で書き上げた伝説のシナリオを、19歳で映画化。自主映画の金字塔、奇跡の8ミリエンターテインメント映画がデジタルレストアによってスクリーンに甦る!!

PFF Award 2025

PFFアワード2025

795作品から選ばれた22作品をA-Iの9プログラム構成で上映。京都を舞台にした映画、京都の監督も!

最終審査員 ※五十音順/敬称略 ●門脇 麦 (俳優) ●関友彦 (プロデューサー)
●福永 壮志 (映画監督) ●山内マリコ (作家) ●山中 瑠子 (映画監督)

最新ゲスト情報は、

公式noteでお知らせします。

追加・変更の可能性あり!

また、入選監督の年齢は応募時のものです。



A 11.13 17:30~ 監督来場・アフタートーク

『惑星イノウエ』 54分
映画ファン賞受賞 監督:鈴木大智 (22歳)



ニート生活中の男が謎の宇宙人により不思議な惑星へ送られる。大量生産された自分と出会う奇天烈な物語。

B 11.14 14:00~

『空回りする直美』 44分
グランプリ&エンターテインメント賞受賞 監督:中里ふく (20歳)



生活に困難を抱える兄と、それを笑い飛ばす直美がみんなを元気にする! 兄妹の即興ラップが耳に残る。

C 11.16 11:00~ 監督来場・アフタートーク

『名前をつけるのは、これから』 39分
監督:直林水柁 (29歳)



かつて捨てられた父親への想いを、新作の脚本に綴る男。何度も書き、読み上げた末に到達する結末とは…。

D 11.16 16:45~ 監督来場・アフタートーク

『屈折の行方』 66分
監督:鴨林諄宜 (25歳) 京都芸術大学卒業



生徒のいじめで退職した元教師の記録映画を、無自覚な教え子が撮る…! ヒリヒリするようなサスペンス。

『ミスモール ワールド』 11分
監督:丸岡優月 (21歳)



歌とダンスに打ち込む小学5年生。学校から遠のき、迷いながら、支えとなる友人も現れる、葛藤の日々を描く。

『ワンダリング・メモリア』 18分
監督:金内健樹 (35歳)



取り壊しを待つ団地の懐かしい記憶が、次第に現実を侵食していくホラー。誰かの気配を感じさせるカメラに慄く。

『カクレミノ』 35分
監督:澤田 晴 (22歳)



クラスでいじめを受ける転校生と、お面を被った少女の孤独な魂の共鳴。いじめが題材の映画の新たな着地点!

『ロ-16号棟』 11分
審査員特別賞受賞 監督:井上優衣 (21歳)



解体の進む広大な団地で、同じ幼稚園に通った少年少女が再会する。懐かし溢れる劇中アイテムにも注目を。

『ノイズの住人』 48分
監督:アンドレス・マドルエニョ (30歳)



仲間と一緒になら、どんな不自由も乗り越えられるかと思っていた映画創りの日々をエモーショナルに活写する。

『紅の空』 39分
審査員特別賞受賞 監督:瀬川 翔 (17歳)



環境汚染で空が真っ赤に染まった東京を舞台に、若年17歳の監督が大胆かつ繊細に「社会への抗い方」を描く。

『CROSS-TALK』 26分
監督:原田 捷 (24歳)



日々テレビ局で視聴者のクレーム電話対応をする男。無関心とその応報を、絶妙な距離感で捉えた実直な物語。

『人生はいつだってHARDだ』 34分
監督:笠原崇志 (30歳)



自堕落無職男と、彼を優しく見守る男の日々。主人公が働く、あの有名な甘栗屋から眺める渋谷の街も必見!

E 11.14 17:30~ 監督来場・アフタートーク

『BRAND NEW LOVE』 84分
準グランプリ受賞 監督:岩倉龍一 (22歳)



倦怠期の若いカップルが人間関係を再発見する時間を、独自のフレーミングや空間や小道具で豊かに構築。

F 11.15 11:00~ 監督来場・アフタートーク

『Caravan』 59分
監督:庄司 皓 (23歳) 同志社大学卒業



大学生活最後の旅に出た男性4人組。大切な記憶とは何か、私的に詩的な時間を描く青春ロードムービー。

G 11.15 13:45~ 監督来場・アフタートーク

『傷ついた天使』 96分
監督:田辺 洸成 (21歳)



都会を離れ、誰でもない自分に出会う旅へ出る。僅かな金だけを持って歩き出したその先で、何を見出すのか。

H 11.15 16:45~ 監督来場・アフタートーク

『PEAK END』 120分
監督:シン・チェリン (26歳) 京都芸術大学卒業



カメラ越しに見つめたのは、君と私。衝動をフィルムに焼き付ける2人の対話は、青春の軌跡を映し出す。

I 11.16 13:45~ 監督来場・アフタートーク

『郷』 93分
監督:伊地知拓郎 (27歳)



白球を追いかけた青春の日々。葛藤や挫折があつたの記憶と交錯する。生きることの輝きを描いた壮大な物語。

『僕はガタロウ』 18分
監督:久保地穂乃 (24歳)



学校の廊下で少女が目惚れた少年。実在の彼女のために奮闘する彼と応援するまわりの暖かさ!

『黄色いシミ』 32分
観客賞受賞 監督:野村一瑛 (29歳)



闇バイトの送迎らしき赤い車。実行と逃走のワンカットで、人の生の危うさ、崩壊を描き切る緊張感。

『アンダー・マイ・スキン』 20分
審査員特別賞受賞 監督:細川巧晴 (21歳) 京都芸術大学在学中



ある少年に恋する17歳の少女。一途な想いは次第に常軌を逸していき、予測不能な展開へ突き進んでいく。

『あの頃』 11分
監督:戸田遥太 (18歳)



進路に悩む高校生が、泥団子を育てる同級生との出会いから、忘れていた何かを思い出していく。

『宮沢さんは剥がさせない!!』 12分
監督:金澤誠人 (16歳)



常にマスクの宮沢さんの素顔を見るため、男子3人組による「脱マスク大作戦」の火ぶたが切られる!